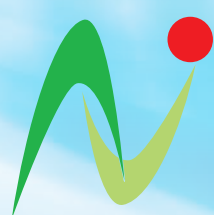


10th
これまでの10年、これからの10年



那珂川町合併 10周年記念誌



町長あいさつ

－ 合併10周年を迎えて －

平成17年10月1日に馬頭町と小川町が合併して、10年が経ちました。この間、町民の皆様には、新町のまちづくり施策について、ご協力・ご尽力賜りましたことに深く感謝申し上げます。

合併当初は、旧2町の融和や、一体感の醸成を図るため、それぞれの地域の歴史、文化、伝統を尊重して、バランスのとれたまちづくりに取り組むことが急務でありました。また、三位一体の改革により、地方交付税の削減など、財政的に極めて厳しい状況を迎えていた中で、多種多様なニーズに答えられる体制を確保するため、行財政改革を強く押し進め、財政の健全化を図っていかねばならない時期でもありました。

財政基盤の確立と新しいまちづくりに向けて策定いたしました「那珂川町総合振興計画」では、「安全・快適なユニバーサルデザインのまちづくり」「笑顔あふれる元気で心あたかなまちづくり」「人を育て未来を拓くまちづくり」「人がにぎわい活力あるまちづくり」「豊かな自然と共生するまちづくり」の5つの基本目標と「改革への道」を掲げ、各種施策を推進してまいりました。

現在、町の地域振興を図るため、「なかがわ元気プロジェクト連絡協議会」を発足し、相互の連携による新たな産業の創出を目標にまちおこしの活動を展開するなど、町を元気にするための取り組みを行っておりますが、これまでの10年間の歩みをしっかりと踏まえつつ、これからのまちづくりを、「快適に暮らせるまちをつくる」「元気で明るく暮らせるまちをつくる」「人を育むまちをつくる」「活力をおこすまちをつくる」「人と自然が共生するまちをつくる」「ともに考え行動するまちをつくる」の6つの基本目標として、第2次那珂川町総合振興計画の策定を進めているところです。

そして、10年後には、「人・もの・自然が融和し、みんなで手を取り合い、元気を生み出すまち」の実現を目指してまいります。



那珂川町長 福島 泰夫

那珂川町民憲章

那珂川町は、清流那珂川と緑豊かな里山に抱かれ、美しい自然と歴史や文化が調和した町です。

わたくしたちは、那珂川町民であることに誇りを持ち、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、ここに町民憲章を定めます。

- － 自然を愛し やすらぎのあるまちをつくります
- － 教養を高め 文化のかおり高いまちをつくります
- － 仕事に励み 活力あるまちをつくります
- － スポーツに親しみ 健康で明るいまちをつくります
- － 互いに助けあい あたたかいまちをつくります

平成19年10月1日制定

那珂川町章



那珂川町のイニシャル「N」をベースにデザインしました。「豊かな自然と文化にはぐくまれやさしさと活力に満ちたまちづくり」をイメージして表現したものです。

平成17年10月1日制定

10年のあゆみ

平成17年

10月 1日 馬頭町と小川町の合併により那珂川町誕生（人口20,517人 世帯5,984世帯）



10月 7日 那珂川町議会初議会

11月 6日 那珂川町長選挙にて、初代町長に川崎和郎氏が就任



11月20日 合併後初のゆりがねマラソン大会開催



平成18年

1月 8日 合併後初めての成人式開催



1月15日 那珂川町第1回町民駅伝競走大会開催

2月26日 那須小川まほろば太鼓・馬頭祝太鼓「和太鼓 桴の饗演」開催



3月 5日 那珂川町合併記念式典を開催し、
町名採用者表彰・町章デザイン優秀者表彰



3月31日 公共下水道馬頭処理区の一部供用が開始

5月 1日 合併後初の那珂川町議会議員選挙で議員18名決まる

7月 1日 合併後初の那珂川町農業委員会委員選挙で無投票当選が決まる

8月15日 合併記念第1回夏祭り花火大会



12月26日 県道小川停車場線の権津川にかかる大正橋開通

平成19年

1月30日 主要地方道矢板馬頭線の大内川にかかる新橋開通

3月18日 梅曾公民館落成式

4月 1日 那珂川町行政組織が
「自治会」・「区」から「行政区」へ組織変更



10月 1日 町民憲章、町のシンボル（町花・町木・町鳥）が決定

10月10日 滋賀県愛荘町と那珂川町が
「姉妹都市の提携並びに災害時相互応援協定」締結

10月20日 合併2周年を記念し、町のシンボルの発表・町民憲章の制定披露



12月 5日 町民憲章碑除幕式

12月14日 那珂川町馬頭広重美術館入館者40万人達成

12月16日 「那珂川町第九を歌う会」第1回演奏会開催



平成20年

2月 3日 北向田公民館完成祝賀会

2月12日 栃木県と那珂川町で「馬頭最終処分場に関する基本協定書」調印

3月16日 アメリカホースヘッズ村と那珂川町が「姉妹都市提携」を結ぶ



3月28日 まほろばの湯・湯親館 入館者100万人達成

3月31日 馬頭東中学校・健武小学校・和見小学校・武茂小学校閉校



4月 1日 馬頭東中学校が馬頭中学校に統合
健武小学校・和見小学校・武茂小学校が馬頭小学校に統合

7月 8日 国道293号バイパス一部供用開始

平成21年

1月27日 町道本町舟戸線、国道293号志鳥バイパス開通

2月19日 宇都宮メディア・アーツ専門学校と「相互友好協力協定」を締結

4月 1日 那珂川町役場の組織を改編し、小川支所を小川庁舎とする

4月25日 那珂川町ケーブルテレビ高度化事業竣工式



5月20日 イノシシ肉加工施設竣工

11月 6日 那珂川町長選挙にて、第2代町長に大金伊一氏が就任



平成22年

3月31日 谷川小学校・大山田小学校・大内小学校が閉校



4月 1日 谷川小学校・大山田小学校・大内小学校が
統合し馬頭東小学校開校
わかあゆ保育園開園・子育て支援センター
わかあゆ開設

馬頭町観光協会と小川観光協会が那珂川町
観光協会として発足



7月30日 温泉トラフグ試食会開催

10月 1日 那珂川町合併5周年
人口 19,211人 世帯 6,132世帯
那珂川町デマンド交通始まる

10月 3日 那珂川町合併5周年記念式典が行われ、イメージ
キャラクター「なかちゃん」、
ケーブルテレビ放送センター愛称・ロゴが発表



「なかちゃん」は、町の中央部を流れる「那珂川」
をイメージしたキャラクターです。頭とマフラー
は川の流れを表し、額には、清流に住む「アユ」
を乗せています。



11月21日 ゆりがねの湯 入場者150万人達成

12月14日 武茂・大内・大山田財産区解散

平成23年

3月11日 東日本大震災で町内各地が被災

4月 5日 那珂川町コミュニティバス「馬頭烏山線」運行開始

5月 9日 地域特産品の開発に向け「ホンモロコ」の卵の放流

5月24日 地域特産品の開発に向け「マコモタケ」体験ツアー開催

6月15日 馬頭広重美術館入館者50万人達成

8月27日 第1回那珂川町夢まつり〈夏〉開催



10月23日 ホンモロコ初出荷

11月 6日 全国スポーツ・レクリエーション祭で「3B体操」を実施



平成24年

3月25日 東京都豊島区と観光交流都市協定
(ふくろう協定)を締結

4月 1日 那珂川町ケーブルテレビ指定管理者制度導入

4月27日 まほろばの湯・湯親館 入場者150万人達成



平成25年

3月27日 那珂川町里の“守”サポート事業
「なかがわ元気応援隊」出発式

3月31日 児童館閉館

4月18日 初めての那珂川町地域ブランド認定証交付

9月29日 国道294号小川南バイパス開通

10月 4日 小砂地区が「日本で最も美しい村」連合に加盟



11月 6日 那珂川町長選挙にて、
第3代町長に福島泰夫氏が就任



11月27日 帝京大学経済学部地域経済学科と
「地域振興の調査研究に関する相互協定」を締結



12月 9日 那珂川警察署と「大規模災害時における町有施設等
の一時使用に関する協定」を締結
那珂川警察署・町民生委員児童委員協議会と
「地域安全活動に関する覚書」を締結

12月11日 デマンドタクシー利用者5万人達成

12月15日 「那珂川町木の駅プロジェクトばとう」実証実験始まる

平成26年

1月27日 「八溝山周辺地域定住自立圏形成協定」を2市6町と締結



2月12日 文星芸術大学と
「文化芸術活動に関する相互協力協定」を締結

3月23日 国道293号馬頭バイパス全線開通

3月31日 薬利小学校・小川南小学校閉校



4月 1日 薬利小学校・小川南小学校が小川小学校に統合
「地域おこし協力隊」の採用

4月26日 道の駅ばとう内「馬頭むらおこしセンター」焼失



7月 8日 「木の駅プロジェクトなかがわ」本格稼働

11月29日 なかがわ元気フェスタ2014開催
・30日



12月14日 馬頭財産区解散

平成27年

2月10日 「那須地域定住自立圏形成協定」を2市2町と締結



4月 1日 「なす風土記の丘資料館」栃木県から那珂川町に移管



4月10日 「道の駅ばとう」・「馬頭むらおこしセンター」リニューアルオープン



5月23日 那珂川町合併10周年記念事業
上河原サンデー会
「なかちゃん田んぼアート」田植え



6月20日 秋田県美郷町と「災害時における那珂川町と
美郷町との相互応援に関する協定」締結



8月17日 シンガーソングライター工藤慎太郎さん作成
合併10周年記念 那珂川町のうた
「心はふるさと～那珂川町 町うた」完成



「那珂川町と私の未来の姿」

最優秀賞 「十年後の那珂川町と十年後の私」

那珂川町は私が生まれた年にたん生しました。だから私と同級生です。

町の中心には、あゆで有名な那珂川が流れています。また、町のあちらこちらには、田んぼや畑が広がり、たくさんの農産物が作られています。

私は、そんな美しい那珂川町が好きです。春にはきれいなさくらが咲き、夏にはカブトムシや、クワガタもいて、秋には赤トンボが飛んでいて美しい虫の声が聞こえます。冬には雪もふり野山を、白くそめることもあります。日本のあたり前の四きがすべて楽しめる、すばらしい町です。

十年後、私と那珂川町は、どんな未来が待っているでしょうか。想像してみました。

今、那珂川町では、緑や川の生き物を守る取り組みや、ホンモノコヤスカイベリーなど地元でとれた名産品をたくさんの人に知ってもらい取り組みをしています。十年後も今とかわらず、美しい町でありつづけ、たくさんの人に来てもらえる町であってほしいです。

また、外国人との交流も深め、赤ちゃんからお年より、外国人の人まで助け合い、いつも笑顔で明るい町であってほしいと願っています。

そのために、私ができることを考えてみました。

私は、フラダンスが大好きです。まだ始めて三年ですが十年後は、一生けん命練習して、那珂川町のたくさんの人に見てもらえるぐらい上手になりたいです。そして、フラダンスのイベントを那珂川町で開き、その時に那珂川町もピーアールできるぐらいの大きなイベントにしたいです。

うぐいすが鳴くホーホケキヨ
あゝ 雪解けの川水清く
カタクリや風待ち草が
あゝ 待ちに待って花開き
風の絵筆が ちよいと 季節を染めて
山の向こうに ほら 夕日が沈む
那珂川良いとこ 一度はおいで
みんなで踊れば仲良しこよしさ
フグがふくれりや夢だつて膨らむ
なかちゃん音頭でホイホイホイ

小川小学校4年 佐藤 瑠南

わたしたちは五月に、小川小全校ハイキングで、馬頭グリーンヒルまで歩いて出かけました。わかあゆ大橋を通り、小口方面を歩きおうふく八キロメートルをクラスのみんなで歩きました。いつもは車でさっと通りすぎてしまう道も、歩いて通ることで、しぜんの美しさも感じることができました。那珂川のていほうを歩いた時の心地よい風、美しい緑の山々、ごみもほとんど落ちていない美しさも感じました。

十年後、那珂川町には、このままの美しい自ぜんをのこしたまま、二十オになってほしいです。私も二十オ。フラダンスを通して、那珂川町の美しさを伝えるために、那珂川の見える場所におおきなホールが建っているといいたいと思います。かみの毛には、ハイビスカスや、町の花であるカタクリをかざっておどれるといいです。フラダンスだけでなく、町の人が元気になるイベントも、そのホールでやれます。私と一しょに、なかちゃんもフラダンスがおどれるでしょうか？楽しみです。

フラダンスのおどりにこめられているように、美しさやみりょくを伝えて私もゆめにむかってどりょくしたいです。

優秀賞

「私の住む町那珂川町」	馬頭小学校	浅野 菜々美
「ぼくのしょう来」	馬頭東小学校	露久保 一心
「LOVE 那珂川」	小川小学校	桧山 未来
「那珂川町とぼくの未来」	小川小学校	佐藤 柊吾

「那珂川町と私の未来の姿」は、那珂川町合併の年に生まれた小学4年生を対象に募集しました。

うぐいすが鳴くホーホケキヨ
あゝ 雪解けの川水清く
若鮎の背びれも跳ねる
あゝ 待ちに待ってたやな開き
夜の棚田に ちよいと ホタル飛び交い
山の向こうに ほら 花火があがる
那珂川良いとこ 一度はおいで
みんなで踊れば仲良しこよしさ
フグがふくれりや夢だつて膨らむ
なかちゃん音頭でホイホイホイ
雨上がり草木は香り
あゝ 朝日が昇って春霞
炊きたてのタケノコご飯
あゝ 待ちに待って山開き
戸ごと円居に ちよいと 明かりが灯る
温泉つかれば ほら 疲れもとれる
那珂川良いとこ 一度はおいで
みんなで踊れば仲良しこよしさ
フグがふくれりや夢だつて膨らむ
なかちゃん音頭でホイホイホイ

なかちゃん音頭

作詞 那珂川町の皆さん・工藤慎太郎
作曲 工藤慎太郎

心はふるさと～那珂川町 町うた

作詞 那珂川町の皆さん・工藤慎太郎
作曲 工藤慎太郎

1. ひまわりの花咲く頃
裸足ではしゃぐ川遊び
那珂川を背に歩いた
夕日沈む帰りの道

2. 紅葉が色づいた頃
せせらぎ小径赤とんぼ
母の背中追いかけた
風に揺れるすすきの道

3. カタクリの芽が出る頃
棚田に映る鯉のぼり
友と手を振り別れた
桜舞いち散る並木の道

心の中はふるさと
変わらぬ景色がある
静かに耳をすませば
こだまする夏の日

心の中はふるさと
変わらぬ景色がある
涙でまぶた閉じれば
頬伝う春の日

心の中はふるさと
変わらぬ景色がある
あゝ 朝日が昇って春霞
炊きたてのタケノコご飯
あゝ 待ちに待って山開き
戸ごと円居に ちよいと 明かりが灯る
温泉つかれば ほら 疲れもとれる
那珂川良いとこ 一度はおいで
みんなで踊れば仲良しこよしさ
フグがふくれりや夢だつて膨らむ
なかちゃん音頭でホイホイホイ



1. ひまわりの花はなさいころはだしではしゃぐかわあそび
2. みじがいろづきころせせらぎなつこい
3. カタクリのめがでるころせなだにうつるこい

なかがわをせに あるいた ゆうひしずむかえりのみち
ははのせなかおいかけたかぜにゆれるすすきのみち
ともとてをふりわかれたさくらまいちるなみきのみち

こころのなかはふるさとかわらないけしきがある

しずかにみみをすませばこだまするなつのひ
たちどまりふりかえればたそがれのあきのひ
なみだでまぶたとじればほほつたうはるのひ

ふゆのよぞらにゆびさしながらみあげるオリオンの

ほしのかがやきわすれられないゆめはまだむねのなか

INTER 8 Coda OUTRO 6
ほほつたうはるのひ

町の花・木・鳥



町の花『かたくり』

早春に薄紫色の花を咲かせます。小さな花一つ一つが控えめな中にも美しく、群生する様は見る者に感動を与えることから、協働のまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい花です。三輪地区に県内一を誇る群生地があります。



町の木『まつ』

常緑樹として周年、緑葉を茂らせることから若さ、不老長寿の象徴とされ、厳しい環境の中でもたくましく根を張り、力強く勇壮な姿は活力あるまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい木です。



町の鳥『うぐいす』

別名「春告鳥」と言われ、春の先駆けとして山里に賑わいと、人々に希望や喜びを与えてくれます。その姿と里山にこだまする美しい鳴き声は自然豊かな美しいまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい鳥です。



発行/那珂川町 発行日/平成27年10月
〒324-0692 栃木県那須郡那珂川町馬頭409
TEL:0287-92-1111 FAX:0287-92-2406